

製品名: グリコーゲン合成酵素 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00103**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 84 kDa; Observed MW: 84 kDa

抗原情報

遺伝子名	GYS1
別名	GYS1; GYS; Glycogen [starch] synthase; muscle
遺伝子 ID	2997
SwissProt ID	P13807
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

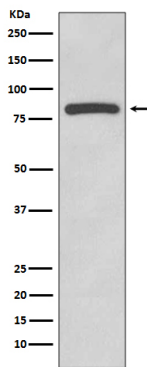
UDP-グルコースから α -1,4-グルカンの非還元末端へグリコシル残基を転移する。グルコース-6-リン酸によるアロステリック活性

化。リン酸化はUDP-グルコースに対する活性を低下させる。非リン酸化状態では、グリコーゲン合成酵素はアロステリック活性化因子としてグルコース-6-リン酸を必要としないが、リン酸化状態では必要となる。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



グリコーゲン合成酵素 1 抗体を使用した HeLa 溶解物中のグリコーゲン合成酵素のウエスタンブロット分析。